

ジオパークとは？

地球活動の歴史を主な見どころとする自然の中の公園です。

青森県内のジオサイトは5ヶ所。今回は蕪島、種差海岸をご紹介します。

ジオサイト…ジオポイントをテーマに沿ってまとめたもの
ジオポイント…地球科学を中心とした自然・文化的な魅力ある見どころ

* 八戸・階上町～宮城県気仙沼までの16市町村は2013年9月に三陸ジオパークとして日本ジオパーク正会員として認定されました。



青森県内のその他のジオサイト

- ・是川遺跡
- ・階上岳
- ・階上海成段丘

種差海岸イノベーションセンター

～スタッフおすすめの国立公園の歩き方～

三陸ジオパークを歩こう



ジオサイトその2 『種差海岸』

ジオポイント「枕状溶岩」…恵比須浜漁港周辺で見られる枕を積み重ねたような形の岩石です。溶岩が水中に流れ出した証拠で1億3千万年前の海底で起きた火山活動の痕跡です。

ジオポイント「イタコマイマイ岩」…海底の火山活動で噴出したマグマが冷え固まり、波の侵食で徐々に削られ、この形になりました。冷えて固まり体積が減少するときに入る規則的な割れ目は「節理」といいます。安山岩という硬い岩石です。

ジオサイトその1 『蕪島』

1億3千万年前の海底火山の活動による火山灰や火山礫が堆積してできたものの2～8月に多く見られるウミネコは、漁場を知らせる神使の使いとして大切にされてきました。自然と人々との共存もジオのめぐみです。

ジオポイント「鳴砂」…石英が多く含まれています。汚れの付着していないキレイな石英が擦れることにより、キツキツと音が鳴るんです。大須賀海岸で見られます。

ジオポイント「白石」…ウミウセヒメウの巣が白くなりました。近くで見るとポツポツ穴があいています。これは角礫凝灰岩の角礫が抜け落ちたもの。実は高さ20mもあるんです。

ジオポイント「定の松原」…3kmにわたる松林。大正3年、深久保青年団により約1万本のクロマツが植林されました。

ジオポイント「種差天然芝生地」…鎌倉時代から続いていたとされる芝生地での牧畜。階上岳の裾野まで広がっていた馬の育成牧場「妙野牧」の一部です。人の営みとともに維持されてきた植生が見られます。

三陸ジオパークのテーマ

悠久の大地と海と
共に生きる

震災の記憶を後世に伝え
学ぶ地域へ